

# 附属図書館の年度計画

## 国立大学法人小樽商科大学附属図書館平成18年度・年度計画

### (中期計画:教育に必要な図書館の活用・整備に関する具体的方策)

1. 貴重古資料を中心とした未入力図書 7,000 冊の目録所在情報の電子化遡及入力を段階的に行う。
2. 西洋古典の経済学書を中心に貴重資料約 3,000 頁の電子化を図り,インターネット上に段階的に公開する。
3. 旧植民地関係資料について,国立情報学研究所遡及入力事業との共同プロジェクト参加について検討する。
4. 学生用図書,参考図書の充実を図るため,予算確保を図るとともに,授業・シラバス等を考慮した選書の在り方について引き続き検討する。
5. 図書館共通費で購入している電子資料(電子ジャーナル及び学術用データベース等)の見直しについて検討する。
6. 地域住民を含めた図書館利用者のために,アスベスト除去工事完了後,祝日開館を本実施する。
7. アスベスト除去工事等による臨時休館中のサービス体制について,利用の不便を軽減する対策を講じる。
8. 新入生を対象に,オリエンテーション・プログラムの一環として,図書館利用案内を行うほか,館内ライブラリー・ツアー及び全学生を対象とした情報検索講習会を実施する。
9. 図書館ホームページの各コンテンツの整備・充実を継続して行い,図書館の概要に関する広報についても拡充整備する。
10. 附属図書館の増築・改修計画について,障害者・高齢者の利用に配慮した改善策を含めた基本方針を策定する。
11. 障害者・高齢者等の図書館利用に配慮し,郵送での貸し出しを検討する。
12. 大学が所蔵する貴重資料を地域社会に公開するため,展示会の開催等について検討を行う。
13. 図書館利用のセキュリティ確保のため,入館管理システム及び防犯監視システムについて検討する。